

2020年4月5日主日礼拝メッセージ

「自由と持ち物」

マルコ10：17-31、ローマ12章1~8節

序論：前回の復習、イエスに依存しよう、の補足

①「集中力」のないこと=飽きっぽい

飽きっぽいこと=一つのことにこだわれない

一つのことにこだわれない=依存症になりにくい

②香川県の条例、ゲームをしないために

中学生一日60分

高校生一日90分

ゲーム依存症をさけるため

何かに依存しなけりゃ、人間やってけない

依存=生きがい なんですよ

良くないものに依存しないためには、良いものに依存すればいい
ジーザス依存症=イエスに依存しよう

ジェームス・ドブソン「持った者の報いです」

アッシジのフランチェスコ「自由になるために、ものを捨てよ！」

物を愛すると、しばられる

なぜそうなるか

人間は複雑なものだから。貧困家庭の子より、裕福な家庭の子の方が問題は少ない傾向はある

DV、病気、酒、ギャンブル、・・・

だからといって問題を解決すれば、幸せになるか、というとそうでもない

二つ目：人は神に似せて作られたから、

慰安婦の本、出版について

我々は社会を変えることが主目的ではない、やってもいいけど主目的が阻害されるならやらない、それを仕事にしている人はいい

日本での問題は超格差社会をどうするか、にある、という人もいる

ただし、格差がない社会が幸福かどうか、はわからない
イエスの言うとおりにすれば、問題は解決する

聖書に答えはあるのではないか

ただし、読んでりゃ幸せになるというものでもない、

じゃあどうするか？ どう読むか、が問題

この青年がイエスのようにしたらどうなっていたか

キリストと生活を共にし、もしかしたらパウロのようになっていたかもしれない

というか、これはパウロのことかもしれない。そうでなくてもこの話を聞いてパウロは憤慨していたことは大いに考えられる

人を愛すると、自由になる

けどすーだら節、言われてもできるもんじゃない

ローマ 12 章 1～8 節

皆が役割を果たすこと

そういう教会があってもいい、しかし、それはあくまでも副産物
最も大事なものは、その個人が神の子となれるかどうか、である

ここでのイエスの最高のメッセージは

格差社会の大金持ち、高慢で鼻持ちならないやつ、

(私なら絶対そうなってしまいますよ)

しかし、こういう人も救われるんですよ

「神にはどんなことでもできるのです」
この青年も救われるんですよ！

ペテロたちをほめた

この時彼らは先にいる、

後にいる金持ちの青年の方が、実は先になっていたかもしれないのである。つまり、主の救いはすべてのものにかかっているのです。